

1 教育計画・地域連携部						
◎人間性豊かな児童を育成する ○開かれた学校 ●学校の考え・様子を積極的に伝える ⇒ 学校HP,学校だよりの活用 ●地域とのつながりを重視する ⇒ 行事における連携 ●保護者参加の行事を大切にす ⇒ 授業参観、保護者会の実施						
評価対象	項目	そう思う	ややそう思う	ややそう思わない	思わない	分からない
児童 (422名)	1 学校からのおたよりをよんだり、ホームページを見たりしていますか？	21%	32%	18%	13%	16%
	2 学校やおうちの近くのぎょうじ(おまつりなど)に すすんでさんかしていますか？	38%	36%	8%	7%	11%
教職員 (35名)	1 学校教育目標に沿った教育活動を実践している	77%	21%	0%	0%	3%
	2 組織が連携・協力して機能的に動いている	79%	15%	3%	0%	3%
	3 公務員としての自覚を持った行動ができています	74%	24%	0%	0%	3%
	4 家庭への連絡や情報発信を積極的に行っている	58%	33%	0%	0%	9%
	5 地域と連携した活動を行っている	39%	52%	3%	0%	6%
	6 指導力向上のための研修に努めている	65%	32%	0%	0%	3%
保護者 (240名)	1 ご家庭で、保護者会・学校学年便り・HP等で学校の様子を積極的に知るようにしている。	40%	47%	9%	3%	3%
	2 学校でお子さんが意欲的に学校生活を送れるよう、ご家庭で声掛け等配慮している。	41%	51%	5%	1%	1%
	3 地域と共に子どもを育てていくことを理解し、進めている。	22%	55%	13%	3%	8%
	4 ご家庭では、地域の行事に進んで参加している。	16%	40%	27%	13%	4%
地域	1 学校運営の基本方針について理解を深めることを通し、地域と共にある学校づくりに参加している。	75%	25%	0%	0%	0%
	2 学校は子ども達が意欲的に学校生活を送れるような学校づくりに取り組んでいる。	50%	50%	0%	0%	0%
	3 学校は、PTA活動や家庭、地域との連携を積極的に進めている。	25%	50%	25%	0%	0%
	4 「豊かな心を育むひまわりプラン」の「育てたい子ども像」を理解し、学校支援に努めている。	50%	25%	0%	0%	25%

【考察】 ※評価の対象者によって差が見られました。

●「学校の考え・様子を積極的に伝える」
 ① 学校だよりや学校HPについて、保護者の方からは関心が高い結果が得られました。多くの保護者の方が学校での様子を積極的に知るようにしていることに感謝いたします。
 ② 様々な状況のご家庭(外国籍等)にも学校の様子を周知してもらうために、今後更に発信を工夫する事を検討していきます。
 ③ 学年だよりなどは子ども達にも見てほしいので、紙ベースで配付しますが、同時に保護者が見やすいような形も検討していきます。(LINE等)また低学年の場合子どもだけでは読めないで、配付時に担任から簡単な説明をしつつ配付することも推進していきます。

●地域とのつながりを重視する
 ① 児童は「参加している」という意識が高いようですが、保護者の方の結果を見ると意識に食い違いがあることが分かりました。児童は「学校行事」も含め回答している可能性が高いので、来年度以降は質問項目を改め「地域の行事」についての回答が得られるようにしていきます。
 ② 習い事等で、休日の地域の行事に参加し辛いご家庭が増えているのではと推察します。解放団体等、地域行事への理解を深めていく必要があることを感じます。

●保護者参加の行事を大切にす
 ① 授業参観・保護者会、また土曜参観、運動会への保護者出席率は高く出ています。今後も継続していく方向で推進していきます。
 ② 「情報モラル教室」については、今後も多くの保護者の方に出席して戴けるよう、開催回数や方法を吟味進めていきます。

●その他
 ① コミュニティ・スクールとしての活動も地域連携なので、教職員の評価が高くなるよう連携を続けていきたいです。
 ② 「学校生活を意欲的におくれるように声掛けしている」「地域と共に子どもを育てる意識をしている」と回答しているご家庭が多いことがわかりました。大変有難く受け止めています。今年度、放課後、児童が地域・家庭に帰った後についての苦情、学校のみに対応を求める連絡が少なからずありました。働き方改革の周知を広げ、学校・家庭・地域が更に連携し、信頼を深めていく事が重要だと捉えています。

2 健康安全部 ☆あいさつをしよう☆

◎健康や安全に気をつけ、きまりを守る子

●健康的な生活を送れるようにする

⇒保健だより・給食だより・保健教育の実施。学校保健委員会の実施。清掃指導の充実。基本的な生活習慣の確立をめざす。

●安全への意識を高め、自ら身を守ること

⇒安全指導の充実。登校班長会議の活用。

評価対象	項目	そう思う	ややそう思う	ややそう思わない	思わない	分からない
児童 (422人)	3 びょうきやけが、さいがいやじこから みをまもろうと ふだんから きをつけていますか？	56%	31%	6%	3%	5%
	4 じぶんのみのまわりをきれいにするように そうじをしたり せいりせいとんをしたりしていますか？	33%	36%	17%	11%	3%
	5 はやね はやおき あさごはんが できていますか？	40%	37%	14%	7%	2%
教職員 (35名)	7 児童の健康管理を適切に行っている	82%	18%	0%	0%	0%
	8 自ら健康な生活を実践しようとする児童を育てている(感染症予防含む)	44%	50%	0%	0%	6%
	9 清掃活動に積極的に取り組む指導を行っている	49%	42%	3%	0%	6%
	10 避難訓練や登下校指導等の活動を通し、児童の安全を図っている	85%	9%	0%	0%	6%
	11 基本的な生活習慣を身につけさせるための指導を行っている	77%	18%	3%	0%	3%
保護者 (240人)	5 普段の授業・保健指導・地区別安全指導等で、お子さんは健康、安全に対する意識を高めている。	31%	52%	13%	1%	3%
	6 お子さんは、基本的な生活習慣(早寝・早起き・朝ご飯)ができています。	44%	38%	14%	4%	0%
地域	5 子ども達に 登下校時の交通安全や、不審者対応等に関する危機意識が育ってきている。	0%	75%	0%	25%	0%

【考察】 ※評価の対象者によって差が見られました。

●健康的な生活を送れるようにする ●安全への意識を高め、自ら身を守ること

①「病気や怪我、災害や事故から身を守ろう」の項目では、児童が半数以上は肯定的な回答をしていますが、廊下を走っている児童は少なくありません。校内の安全についても引き続き指導していきます。

② 自分の身の周りの意識付けのために、お道具箱の中を整理整頓をしていく、ゴミが落ちていたら拾う等、自分達の学校をきれいにしようという意識を高めていく必要を感じます。ただ、学校の現状としては、教師は掃除箇所の見回りも一箇所だけをずっと見る事ができません。他校では委員会活動で掃除の点検をする活動をしている事例があります。各クラスが結果を見て掃除をがんばろうという意欲につながるよう工夫して、児童のやる気を高めていきたいです。

③ 学校では、3食食べている前提で栄養バランスを考え給食を提供しています。給食を完食しても1日の3分の1の栄養しか摂取できません。したがってどの子も朝食だけは食べてほしいのが学校の本音です。朝食欠食は学習への集中力をさげるだけでなく、夏場は熱中症のリスクも上がり命の危険もあります。ご家庭の更なる理解・協力を求めます。

④ 動画、ゲームをしていて夜ふかししていることに保護者の方が困っているとの訴えが多くなっています。今年度、保護者向けに情報モラルの講習を2度開催しました。健康安全分野は、保護者の方と学校が考えを共有し、児童の指導に努めていく事が必要不可欠です。学校から出されるお便りを良く読んで戴き、講演会にも積極的に参加して戴きたいと切に願います。

⑤ 今年度、下校・放課後の道路への飛び出し、自転車での接触事故がありました。学校では「交通安全教室」を開き、各学年、発達段階を考慮し継続的に指導を進めています。ご家庭・地域でも、児童の安全意識を高めるような働きかけを続けて欲しいと願います。

3 授業研究・学校管理部 ☆さいごまで やりぬこう☆

- ◎めあてを持ち、ねばり強く学ぶ子 ○学習指導の充実
 ●基礎・基本の充実を図る⇒ 反復学習・復習の充実と朝学習の活用
 ●楽しくわかりやすい授業に努める⇒ 教材研究の充実
 ●体力の向上を図る ⇒ 体力向上のイベントの企画と運営

	項目	そう思う	ややそう思う	ややそう思わない	思わない	分からない
児童 (422人)	6 じゅぎょうで学ぶこと(じぶんのおもいをつたえること)は 楽しいですか？	38%	34%	13%	7%	7%
	7 じゅぎょうや休み時間に すすんで体を動かしていますか？	40%	30%	14%	13%	3%
	8 わからないもんだいにも、あきらめず とりくんでいますか？	47%	36%	11%	3%	2%
教職員 (35人)	12 基礎基本の定着を図り、学力の向上に努めている	82%	12%	0%	0%	6%
	13 朝読書などを通して、読書活動を推進している	55%	36%	0%	0%	9%
	14 教材教具の工夫や教育機器を活用した授業を行っている	68%	27%	0%	0%	6%
	15 学年で評価基準を設定し、次の指導に生かしている	59%	32%	3%	0%	6%
	16 施設整備の点検や維持管理を協力して行っている	65%	39%	0%	0%	6%
	17 教育活動を通して、児童の体力向上に努めている。	55%	39%	0%	0%	6%
保護者 (240人)	7 学校の施設・設備や環境は学習・生活の場として適切である。	29%	57%	8%	1%	4%
	8 お子さんは、前向きに学習にとりくんでいる	29%	47%	15%	7%	2%
	9 お子さんは、分からない問題も粘り強く取り組んでいる。	20%	44%	23%	10%	3%
地域						

【考察】 ※ 全体的には肯定的な評価が増えています。

● 基礎・基本の充実を図る ●楽しくわかりやすい授業に努める

① 学校では基礎基本の充実を念頭に置き、朝読書・教材の工夫・ICT活用について学年またはグループで熟考し推進してきました。保護者の方にもそれが伝わってきていることが結果として表れています。今後は地域の方にそれを伝える機会を持っていく事が重要だと感じています。

② 「粘り強く頑張っている」の項目では、児童と保護者の方の評価に差が出ていました。保護者の方は児童に「もっと頑張してほしい！」と感じている部分があるように見受けられます。学校では、児童が「頑張った」と思えるような指導・支援に努めて参りました。ご家庭でもお子さんの声を受け止めて戴いていると思います。頑張ったことについては共有し認め、更に高みを目指せるような温かな励ましを今後もお願いいたします。

③ 「授業で思いを伝えることは楽しいですか」の項目では、児童の肯定的な評価が70%でした。校内研では学び方を選び、児童が主体的に学ぶことを推進してきましたが、「表現」に対するアプローチを今後考えていく必要があると感じます。

● 体力の向上を図る

① 今年度、ジャングルジム・雲梯が新しくなりました。今後も、休み時間等に児童が全身を使って遊ぶ遊具の維持に努めていきます。ご家庭・地域の方がそれを知る機会が少ないので、学校だより等で周知していきます。

② 今年度「体力づくり」をテーマに体育委員会が学校保健委員会で取り組んできました。「休み時間体を動かしていますか」では児童の評価が高く出ています。今後も継続していきけるよう働きかけていきます。ただ、「体力づくり」については、児童と教職員の評価の差が出ています。意識を高めるような支援を更に工夫していく必要があります。

●その他

① 担任でない職員が「朝の読書」や「学年の評価基準の設定」を判断することは難しいですが、職員の回答の「分からない」を改善していきたいです。

② 児童「思いを伝える事が楽しい」については、校内研究のアンケート結果を元に更に検討し、学習全般の評価を見ていきたいです。

4 児童指導・教育相談部 ☆ひとの身になって考えよう☆

- ◎思いやりがあり、仲良く活動する子 ○豊かな心の育成
- 児童会活動を充実させる ⇒ 委員会活動・クラブ活動・旭小の三つの合言葉の具体的な取り組み
- 共通理解を図り全職員で取り組む児童指導⇒QUの活用・生活アンケートの活用・学年学級実態報告会
- 児童一人ひとりの良さを認め合わせる ⇒ 個に応じた指導を行う
- 教育相談の充実 ⇒ スクールカウンセラーや保護者相談日の設置

評価対象	項目	そう思う	ややそう思う	ややそう思わない	思わない	分からない
児童 (422人)	9 学校は楽しいですか？	38%	52%	7%	3%	0%
	9 人のきもちになってかんがえるように 心がけていますか？	48%	39%	8%	2%	4%
	10 学校で 友だちときよりよくして とりくんでいますか？	56%	32%	7%	2%	4%
	11 こまった時に、そうだんできる人はいますか？(スクールカウンセラーさんや先生、かぞく、ともだちも入ります。)	71%	20%	3%	3%	4%
教職員 (35名)	18 委員会活動、学級活動など、児童が活発に活動できるようにしている	55%	39%	0%	0%	6%
	19 豊かな心の育成に取り組んでいる	62%	29%	3%	0%	6%
	20 保護者と連携し、共通理解を図った指導を行っている	62%	29%	0%	0%	9%
	21 児童理解に努め、個に応じた指導を行っている	71%	21%	3%	0%	6%
保護者 (240人)	10 お子さんは、ひとの身になって考えることができるようになってきている。	26%	59%	9%	2%	4%
	11 スクールカウンセラーや保護者相談日が設置されていることを知っている。	68%	23%	2%	1%	6%
地域	6 子ども達は、生活上のルールやマナー(挨拶を含む)を守り、安心して楽しく学校に通っている。	0%	75%	0%	0%	25%

【考察】(地域を除き) ※全体的に肯定的な評価が得られましたが、検討すべき事項は多くあります。

●児童会活動を充実させる

- ① 旭小学校の3つの合言葉「あいさつをしよう」については、児童会が実態を把握した上で集会で劇を見せて呼びかけたり、キャンペーンを行ったりして意識を高めることに尽力していました。結果、校内で挨拶をする児童が大変増えてきました。今後はお世話になっている地域の方に挨拶できるよう取組みを推進していきたいと思えます。
- ② 旭小学校の3つの合言葉「最後までやり抜こう」については、学級・学年や学校行事、また委員会活動の目標を立てる際に丁寧に児童の思いを受けとめ目標を設定し、その後の振り返りも一人一人が精一杯取り組んできたことを共有してきた結果が表れていると捉えています。授業は、実体に応じて様々な形態を取り入れてきました。児童が主体的に自分に合った学び方を選んで取り組むことで、最後まで頑張れたと感じる児童が増えてきたように思います。ただ、児童の1割近くが「そう思えない」と答えていることについて、今後検証していく必要があります。
- ③ 旭小学校の3つの合言葉「人の身になって考えよう」については、個人によって解釈がそれぞれ違うことが推察されます。「私とあなた」ではなく「私達にとって」いいことは何かという視点を持てるような支援が必要です。合言葉の文言の見直しも考えましたが、まずは、本校に長く根付いた3つの合言葉を各学年に合った形で教師が伝えていくことを大切にしていきます。

●共通理解を図り全職員で取り組む児童指導 ●児童一人ひとりの良さを認め合わせる

- ① 「学校は楽しいですか」の項目では、9割が肯定的な評価でしたが、1割「そう思えない」児童について、詳細を丁寧に検証し、今後の支援に生かしていきます。
- ② 教職員は、学級の児童の様子について毎日学年間で共有し、教育相談コーディネーターや管理職と話し合い共通理解を図り、課題については早期対応に努めてきました。児童一人一人の良さを認めるために、担任が多くの関係教職員や専門家との連携を大切にし、対応に当たっています。
- ③ 地域の方に児童指導・教育相談の取組について周知していく必要性を感じます。コミュニティスクールとしての取組・地域の方・見守り隊などの方と児童が関わる機会を増やし、理解して戴ける様努めていきたいです。児童が地域に出ていく活動について、今後も学校と地域で話し合い、徐々に増やしていける様に努めます。

●教育相談の充実

- ① スクールカウンセラー設置や教育相談日については、児童や保護者の方へ周知が広がっているのを感じますが「そうおもわない」「わからない」を合わせた割合は児童10%、保護者9%です。全体の一割が理解していない状況を重く捉え、今後も周知の工夫をしていきます。